



雑子の音色と歓声が響く



# 熱気帯び

# 市中を渡御

「あ

んりゃあとした」の掛け声で盛り上がる神輿の担ぎ手たちと、それを

囃し立てる笛や太鼓の音色。匠瑤市が一年で最も熱気を帯びる八重垣神社祇園祭が8月4日・5日の2日間行われた。

初日の女神輿連合渡御では、華やかさ、艶やかさを一層増した女性たちが男たちに負けじと神輿を担ぐ。祭りの目玉、2日目の神輿連合渡御では、20基ほどの神輿と雑子連が列をなし市中を闊歩。灼熱の太陽が照り付ける中、沿道から「これでもかと神輿に向けて大量の冷水が掛けられると、周囲にはムワッとした熱気がむせ返る。神輿が神社に到着した後も、興奮冷めやらぬまま渡御は夜遅くまで続いた。





岩手・花巻祭りで神輿を担ぐ  
神羊會の皆さん

「囃子と神輿の一体感、  
カッコよすぎます！」



市内に1週間滞在して体験  
軽部 夏帆さん

「大学の研究の一環で参加。  
盛り上がりがいっぱいね！」

### 祇園祭を体験しました！

祇園祭には、岩手県花巻市の神輿同好会の皆さんや、祭りによる地域活性化を研究する大学生も参加。その迫力と熱気を体験しました。

